



令和7年度大桐小学校のきまり

持ち物身なり編

大阪市立大桐小学校

生活指導だより

06-6328-0904

大桐小学校では、1年生から6年生までのだれもが、安心して落ち着いて学校生活を送ることができるように、みんなのルールを設定しています。学校でももちろん指導していますが、ご家庭でもぜひこの機会に、お子様と確かめ合う時間を持ってください。

I. 学校に持ってくるもの

学習に適したもの・必要なものをもってくる

- (1) 持ち物には、一つ一つ学年・組・名札を書く。
- (2) 学習用具(教科書・学習ノート・宿題プリントなど)と連絡帳・自由帳。
- (3) 筆箱には、消しゴム・えんぴつ4・5本・赤えんぴつ(学年によつては赤ボールペン)・ネームペン・定規・その他指示されたものだけを入れる。
- (4) 体操服・給食着・上ぐつ
- (5) 給食用のナフキンとマスク(毎日清潔なもの)を用意する。
- (6) ハンカチ・ティッシュ(いつでも使えるように、清潔なもの)をポケットに入れる。



II. 学校に持ってきてよいもの・持てこないもの

学習に適さないもの・関係の無いものは持てこない

- (1) カラーペン・飾り消しゴム・匁いつき消しゴム・シャーペン・メモ用紙は、持てこない。
- (2) ランドセルに防犯ベルをつけてもよい。目につくところにつけておくと効果的です。
- (3) スマートフォン等は持てこない。登下校時に必要な場合は保護者から連絡してもらう。
- (4) コミック本・おかし類・ボール・各種カード・時計・お金・シールを持ってこない。
- (5) キーホルダーなどのアクセサリーを持ってこない。ただし、安全なアクセサリー1つならランドセルに目印としてつけてよい。筆箱にはつけない。
- (6) 使い捨てカイロを持ってこない。ただし、体調不良の時にはタイプのカイロを使う必要があれば、保護者から連絡してもらって持てる。
- (7) 家のかぎは必要なときだけ、他人から見えたり落したりといったことがないように、工夫して持つてくる。首にかけているものは、学校に着いたらランドセルの中に入れ。
- (8) 薬が必要な場合は、保護者から連絡してもらって持つてくる。
- (9) お茶か水を水筒に入れて持つてくる。特に夏季は水分補給が大切なので多めに持つてくる。
- (10) 読書タイム用の図書を持ってきてよい。

令和7年4月改定

III. 大桐小学校の子どもの身なり

標準服を着る

白ブラウス・ポロシャツ・上着
スカート・半ズボン・長ズボン

服装を整えましょう

スカートの肩ひもを外したり、
靴下をルーズにはいたりといった
ことはしない。



外ぐつ

体育の授業で走れる
ような、運動に適したも
の。かかとをふまない。



頭髪

- ・脱色・染色やエクステンションはしない。
- ・長い髪を髪ゴムでとめる。
- ・カチューシャやリボン、シュシュなどはつけな

体そう服・体そうズボン・赤白ぼうし

学校指定の半袖・長袖シャツや長袖トレーナー、長ズボンを、気温などに応じて着てよい。半袖・長袖シャツやトレーナーの右胸と半ズボン・長ズボンの後ろポケットに白布で学年・名前を書いてぬい付ける。

中に下着(シャツ)を着る場合は、着替え用も持ってきて、体育後に着替える。

ミサンガ・アクセサリーはつけない。

キーホルダー等は、安全なもの1つまでランドセルや手さげにつけて目印にしてもよい。それ以外は持てこない。

寒い時の服装

- ・セーター・ベストは紺・黒色のものを着る。登下校中は必ず上に上着を着る。
- ・校内では上着をぬいでもいいです。
- ・登下校時は、標準服の上着の上にジャンパー(派手でないもの)を着てよい。
- ・手袋、ネックウォーマーを使ってよい。レッグウォーマー、マフラーは使わない。
- ・標準服以外の長ズボンは紺・黒色のものをはく。体育用のズボンとは区別する。
- ・タイツ・レギンスは紺や黒色で模様や柄のないもの。
- ・タイツは、体育の時はくつ下にはきかえる。レギンスはぬぐ。
- ・スカートの下に、スカートの丈より長いズボンをはかない。

※ 健康面などさまざまな事情で、特別な配慮が必要な場合は、担任・学校にご相談ください。よりよい方法をいっしょに考えさせていただきます。